

令和 8 年度一般選抜入試

『歴史総合、世界史探究』出題意図

本学における日本史関連の出題については、①基本的な時代・語句の知識を身につけているかどうかを確認する、②基本的な知識を生かした論理的な思考ができるかどうかを確認する、の 2 点の意図をもって作成されている。

これらの力を測るために、年代や歴史用語などを空欄化して問う問題を設けるほか、正しい理解を示す選択肢を知識の組み合わせ力によって選ぶ設問を設けている。また、歴史素材である史料の正確な解釈ができるかどうかを問う問題にも力を入れ、とくに現代では日常生活から疎遠になった物品・習俗などを単なる語彙としてではなく、実体的に理解しようとする関心を備えているかどうかにも注目している。

《Ⅰ期 A 日程》

- 【Ⅰ】縄文時代の生活の基本的な知識を問う。
- 【Ⅱ】平安時代前期の弘仁・貞観文化についての基礎的な理解を問う。
- 【Ⅲ】御成敗式目に関する史料の論理的な解釈ができるかを問う。
- 【Ⅳ】明治時代前期の外交について、基本的な理解を問う。
- 【Ⅴ】日中戦争・太平洋戦争下での社会・文化について、基本的な知識を問う。

《Ⅰ期 B 日程》

- 【Ⅰ】人類の進化に関する基本的な知識を問う。
- 【Ⅱ】南北朝時代の基礎的史料をもとに論理的な読解力と知識を問う。
- 【Ⅲ】江戸時代初期の幕府権力確立への動きについて理解力を問う。
- 【Ⅳ】明治維新时期について、基本的な知識を問う。
- 【Ⅴ】昭和時代初期の外交・経済について、基本的な理解を問う。

《2期・4期》

日本史に関する基礎的な語句や理解を測るための問題を、原始から現代までの間で出題。

《3期》

- 【Ⅰ】7 世紀の史料をもとに、当該期の政治と制度の基本的な理解を問う。
- 【Ⅱ】遣唐使廃止史料から、外交に関わった人物等の基礎的な知識を問う。
- 【Ⅲ】中世における村の構造や生業等に関わる基礎的な知識を問う。
- 【Ⅳ】戦国時代から江戸時代の村のあり方について、基本的な理解を問う。
- 【Ⅴ】「55 年体制」とその後の政治について、基本的な理解を問う。